

## 「じゃらん宿泊旅行調査 2020」



- 2019年度の宿泊旅行実施率は53.6%、前年度より減少に転じた
- 旅行件数は上期前年度比1.4%増に対し、下期は3月の大幅減少が影響し15.5%減
- 3月は前年同月比57.0%減。35歳以上の女性およびシニア男性で旅行控えが顕著。家族旅行、団体旅行の減少幅が大きく、60%超の減少

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」（センター長：沢登 次彦）は、このたび、全国1万5,658人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査 2020」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態を把握するために進めている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2019年度（2019年4月～2020年3月）における国内宿泊旅行の行き先や回数、旅行費用などを調査し、今年で16回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

### TOPICS

#### 【延べ宿泊旅行者数推計】

..... P3

- 2019年度（2019年4月～2020年3月）の宿泊旅行実施率は53.6%で前年度に比べ減少に転じる
- 宿泊旅行実施率は35～49歳男性を除く全ての属性で前年度より減少した
- 延べ宿泊旅行者数は1億3575万人回（前年度比▲8.1%）、延べ宿泊数は2億4393万人泊（同▲7.7%）

#### 【月別にみた旅行件数の前年度比較】

..... P4

- 2019年度上期は前年度比1.4%増で推移したが、3月の旅行件数減少が響き、下期は15.5%減
- 35歳以上の女性、65歳以上男性が旅行控え。家族旅行や友人との旅行、団体旅行の減少が大きい

#### 【宿泊旅行の費用総額】

..... P5

- 宿泊旅行にかけられた費用総額は8兆1215億円で、前年度より6.1%減少
- 1回（大人1人あたり）の宿泊旅行にかかった費用は平均5万9,800円、前年度より1,300円上昇

#### 【宿泊旅行の同行者】

..... P6

- 「一人旅」が微増し18.6%、20～34歳男性では約3割を占める

#### 【都道府県別の延べ宿泊旅行者数と増減】

..... P7

- 延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位北海道、3位大阪府、4位静岡県で上位4都道府県は動きなし
- 延べ宿泊旅行者数が増加した都道府県は8県にとどまる

#### 【テーマ別・都道府県魅力度ランキング】

..... P9

▶ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	石川県	2位	北海道	3位	宮崎県
▶ 魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	北海道	3位	鹿児島県
▶ 魅力的な宿泊施設が多かった	1位	大分県	2位	沖縄県	3位	北海道
▶ 地元の人へのホスピタリティを感じた	1位	沖縄県	2位	宮崎県	3位	山形県
▶ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	和歌山県
▶ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
▶ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	1位	沖縄県	2位	千葉県	3位	京都府
▶ 現地で良い観光情報を入手できた	1位	沖縄県	2位	宮崎県	3位	青森県

【本件に関するお問い合わせ先】  
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

## 調査概要

◎調査名 じゃらん宿泊旅行調査2020

◎調査方法 インターネットによる調査

### ■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ②調査時期 2020年4月1日（水）～2020年4月15日（水）
- ③調査対象 全国20～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- ④配信数 101万7,578件
- ⑤調査内容 2019年度（2019年4月～2020年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）実態
- ⑥回収数 7万6,910件（回収率7.6%）
- ⑦1次調査 集計対象者数 2万件
  - ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した
  - ・配信数と割付について  
2次調査のセル別目標回収数は、「平成27年 国勢調査」の都道府県別、性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した  
ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約1万5,400件の回収を目標とした
  - ・2次調査の配信数は、ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者4万1,239件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
  - ※回収された7万6,910件のうち都道府県別、性・年代別に割付を行い2万件を抽出  
性・年代別宿泊旅行実施率を算出

### ■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2020年4月7日（火）～2020年4月20日（月）
- ③調査対象 4万1,239件（うち、同居家族モニター319件）
  - ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：4万920件
  - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人：319件
  - ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した  
追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した  
（回収数1万件<配信数10万8,522件 回収率9.2%>、2次調査対象者数319件）
- ④配信数 2万7,289件（うち、同居家族モニター210件）
  - ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付に合わせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施した全ての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万5,724件（回収率57.6%）
- ⑦有効回答数 1万5,658件（うち、同居家族モニター176件、旅行件数ベース3万519件）

#### ※集計・分析手法について

はじめに令和元年10月1日現在人口推計（総務省統計局発表）および1次調査結果を用い、全国の宿泊旅行者の母集団を推計した。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県別、性・年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正している  
また今回は60歳以上の登録モニター数が少ない道府県について、60歳以上の家族と同居している登録モニターに代理回答を実施、2次調査の調査対象として追加した

## 宿泊旅行実施率は53.6%、過去最低値

## 延べ宿泊旅行者数は前年度比で8.1%減、延べ宿泊数は7.7%減

2019年度の1年間に宿泊旅行（※1）を行った人の割合は53.6%、前年度よりも2.8pt減少。実施者における年間平均旅行回数は2.70回、1回の旅行あたりの平均宿泊数は1.80泊となり、実宿泊旅行者数の推計値は5031万人、前年度より5.3%減。延べ宿泊旅行者数（※2）は1億3575万人回（前年度比8.1%減）、延べ宿泊数（※3）は2億4393万人泊（前年度比7.7%減）で、いずれも前年度より減少した。性・年代別では35～49歳男性で宿泊旅行実施率が前年度並み。それ以外の属性では減少した。

- ※1 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
- ※2 延べ宿泊旅行者数・・・推計人口 × 宿泊旅行実施率 × 宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
- ※3 延べ宿泊数（人泊）・・・延べ宿泊旅行者数 × 宿泊旅行実施者の1回の旅行あたり平均宿泊数
- ※4 宿泊数の設問形式を2014年度から変更。主なエリアの宿泊数と他エリア、他の都道府県の宿泊数を分けて尋ね、それぞれ合算して平均宿泊数を算出。よって、2013年度以前の平均宿泊数、延べ宿泊数（斜体の部分）は直接は比較できない参考値

### ■ 延べ宿泊旅行者数の推計方法（※4）

※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っている

	R1年10月1日 現在人口推計	調査結果				推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) <B>	宿泊旅行 実施者の 年間平均 旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行 実施者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数 (泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ 宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ 宿泊数 (万人泊) A*B*C*D	
(2019年度)全国20～79歳男女	9,388	53.6	2.70	1.80	5,031	13,575	24,393	
	前年度との差→	▲ 2.8	▲ 0.08	前年度との差→	▲ 279	▲ 1,202	▲ 2,023	
				前年度比→	▲ 5.3%	▲ 8.1%	▲ 7.7%	
(2018年度)全国20～79歳男女	9,408	56.4	2.78	1.78	5,310	14,777	26,416	
(2017年度)全国20～79歳男女	9,438	55.6	2.78	1.76	5,244	14,556	25,646	
(2016年度)全国20～79歳男女	9,475	54.8	2.77	1.76	5,188	14,358	25,308	
(2015年度)全国20～79歳男女	9,498	56.4	2.86	1.75	5,358	15,313	26,903	
(2014年度)全国20～79歳男女	9,520	56.9	2.79	1.68	5,420	15,110	25,397	
(2013年度)全国20～79歳男女	9,557	57.5	2.84	1.60	5,491	15,599	24,972	
(2012年度)全国20～79歳男女	9,598	55.8	2.71	1.61	5,354	14,505	23,445	
(2011年度)全国20～79歳男女	9,646	57.6	2.64	1.63	5,561	14,686	23,987	
(2010年度)全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686	
(2009年度)全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778	
(2008年度)全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235	
(2007年度)全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604	
(2006年度)全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325	
(2005年度)全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856	
(2004年度)全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024	

※人口について、次の統計値を用いて調査を行っています。

2019年度：R1年10月1日現在人口推計	2018年度：H30年10月1日現在人口推計	2017年度：H29年10月1日現在人口推計	2016年度：H28年10月1日現在人口推計
2015年度：H27年国勢調査<速報>	2014年度：H26年10月1日現在人口推計	2013年度：H25年10月1日現在人口推計	2012年度：H24年10月1日現在人口推計
2011年度：H23年10月1日現在人口推計	2010年度：H22年国勢調査<速報>	2009年度：H21年10月1日現在人口推計	2008年度：H20年10月1日現在人口推計
2007年度：H19年10月1日現在人口推計	2006年度：H17年10月1日現在国勢調査人口	2005年度：H16年10月1日現在人口推計	2004年度：H15年10月1日現在人口推計

### ■ 性・年代別宿泊旅行実施率の推移

	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
全国20～79歳男女	65.4	66.1	64.7	63.8	63.1	60.3	56.7	57.6	55.8	57.5	56.9	56.4	54.8	55.6	56.4	53.6
20～34歳 / 男性	62.5	61.4	61.0	61.8	60.6	57.0	53.2	57.2	52.8	51.3	54.1	53.8	51.7	54.8	56.2	55.1
20～34歳 / 女性	68.0	66.7	67.1	66.3	66.8	65.0	61.3	64.0	62.3	64.0	64.3	61.9	60.3	60.5	64.3	61.4
35～49歳 / 男性	61.9	62.2	60.4	60.1	59.6	56.9	53.6	53.0	51.8	53.1	53.7	53.4	52.0	53.3	53.5	53.5
35～49歳 / 女性	62.6	64.8	61.5	58.9	58.7	57.8	53.6	55.9	53.7	56.3	55.3	54.8	53.8	55.5	56.2	52.1
50～79歳 / 男性	63.8	67.4	64.8	64.7	63.2	59.9	55.1	55.9	54.4	57.6	56.2	55.6	55.0	54.7	54.8	51.4
50～79歳 / 女性	70.3	69.7	69.2	67.3	66.5	63.1	61.2	60.2	59.0	60.3	58.5	58.6	55.6	56.1	56.8	52.9

### ■ 性・年代別延べ宿泊旅行者数の推移

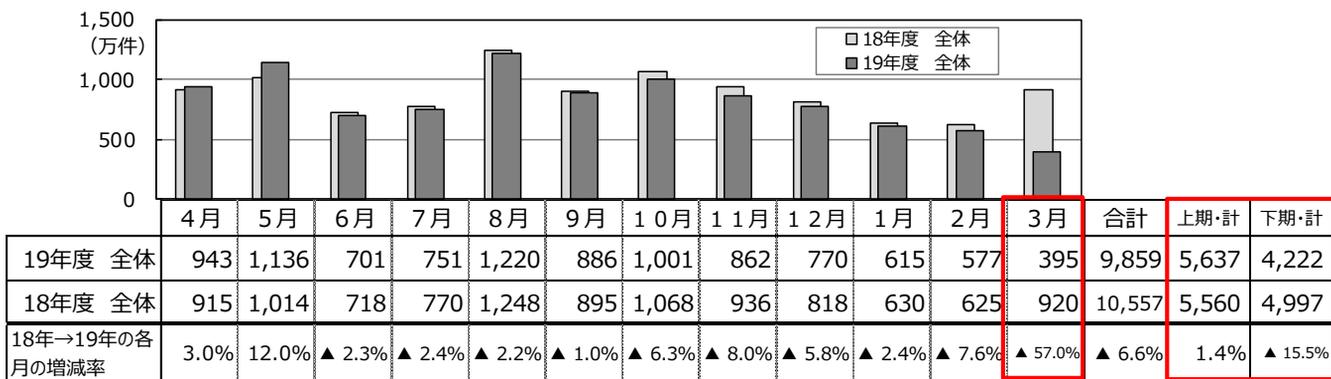
	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
全国20～79歳男女	17,343	17,875	17,366	17,514	17,355	16,239	15,020	14,686	14,505	15,599	15,110	15,313	14,358	14,556	14,777	13,575
20～34歳 / 男性	2,219	2,201	2,036	2,075	1,975	1,879	1,612	1,608	1,450	1,537	1,553	1,545	1,434	1,564	1,645	1,586
20～34歳 / 女性	2,319	2,284	2,214	2,102	2,074	1,876	1,802	1,705	1,648	1,779	1,691	1,627	1,543	1,573	1,666	1,573
35～49歳 / 男性	2,045	2,175	1,833	2,106	2,084	2,069	1,888	1,902	1,864	2,038	2,028	2,128	1,984	1,959	1,891	1,830
35～49歳 / 女性	1,963	2,017	1,847	1,900	1,856	1,841	1,777	1,711	1,669	1,851	1,776	1,823	1,771	1,702	1,785	1,703
50～79歳 / 男性	3,959	4,472	4,424	4,310	4,414	3,946	3,578	3,601	3,543	3,941	3,795	3,889	3,772	3,812	3,850	3,431
50～79歳 / 女性	4,837	4,726	5,013	5,022	4,952	4,628	4,362	4,158	4,331	4,453	4,266	4,301	3,855	3,946	3,940	3,453

## 2019年度上期は1.4%増と好調だったが、下期に15.5%減 特に3月の旅行は前年同月比57.0%減と大きく減少 家族旅行、友人旅行、団体旅行が大きく減少

月別に旅行件数の推移を前年度と比較すると、上期(4月～9月)は1.4%増と好調だったが、下期に減少。特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたと思われる3月の旅行が前年同月と比べて57.0%減。性・年代別で減少幅が特に大きいのは35歳以上の女性、および65歳以上の男性で、それぞれ6割以上の減少。旅行形態では家族旅行と「友人旅行」「団体旅行」が大きく減少した。居住地ブロック別では全てのエリアで前年度より減少しているものの、東北や関西、九州での自地域内での旅行は、比較的減少幅が小さい。

### ■ 宿泊時期（1人あたり最大3回までの旅行件数）

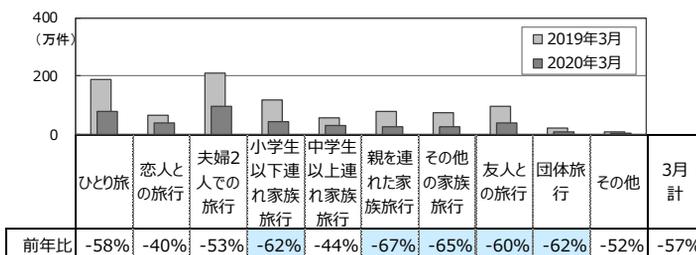
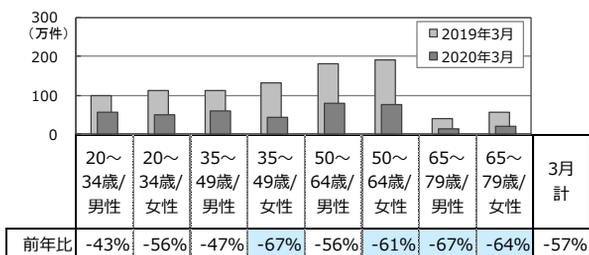
※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない



※1人あたり最大3回までの旅行件数を積み上げた結果であり、P3の延べ宿泊旅行者数の推計値とは一致しない

### ■ 3月の旅行者の性年代（前年比較）

### ■ 3月の旅行の同行者（前年比較）



### ■ 3月の旅行の居住地ブロック別旅行先ブロック（前年比較）

	単位：万件	旅行先ブロック									3月・計
		北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	甲信越・北陸ブロック	東海ブロック	関西ブロック	中四国ブロック	九州ブロック	沖縄ブロック	
全体	2020年3月	20	32	78	47	52	58	44	52	12	395
	2019年3月	56	58	252	94	119	137	74	95	34	920
	増減率	-64%	-45%	-69%	-50%	-56%	-58%	-41%	-45%	-63%	-57%
居住地ブロック	北海道ブロック	-54%		-50%		-92%					
	東北ブロック	-94%	-37%	-75%							
	関東ブロック	-71%	-51%	-60%	-45%	-49%	-57%	-52%	-48%	-42%	
	甲信越・北陸ブロック			-86%	-49%	-58%	-70%				
	東海ブロック			-72%	-55%	-57%	-61%	-60%		-73%	
	関西ブロック			-72%	-46%	-61%	-30%	-4%	-54%	-76%	
	中四国ブロック			-75%			-79%	-49%	-73%		
九州ブロック			-77%			-82%	-26%	-37%			
沖縄ブロック										-75%	

※前年の件数が3万件以下のセルは非表示とした

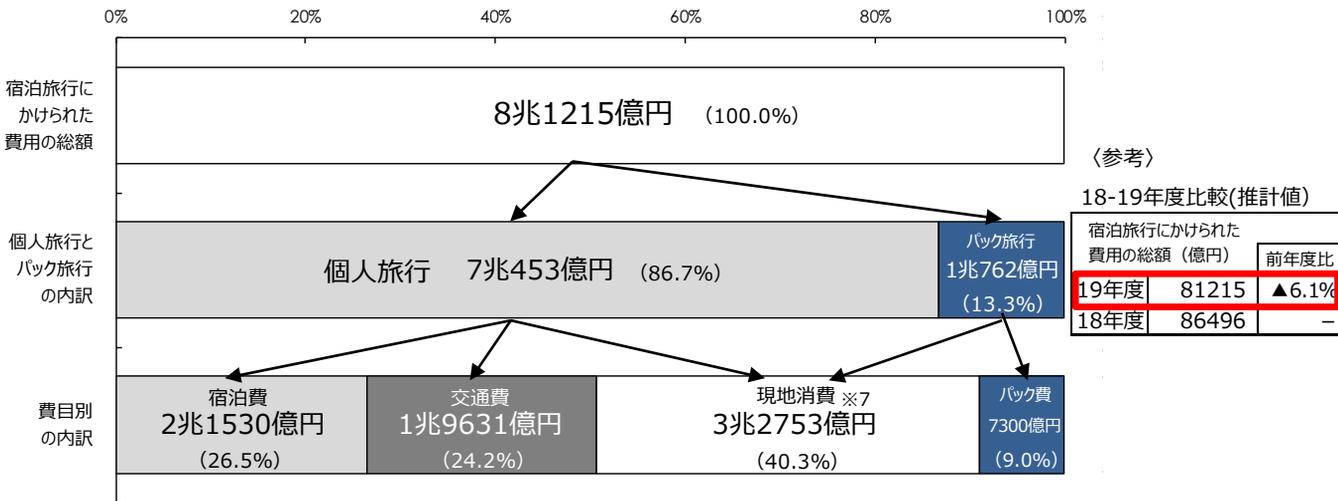
70%以上減少したセルに網掛け

**宿泊旅行にかけられた費用総額は8兆1215億円で前年度から6.1%減  
1回の宿泊旅行にかかった費用は平均で5万9,800円で1,300円UP**

1回あたりの宿泊旅行費用（※5）は、平均で5万9,800円。うち、宿泊・交通にかけられた費用は3万5,700円、現地消費は2万4,100円で、いずれも前年より上がっている。個人旅行（※6）、バック旅行ともに総額・宿泊・現地消費いずれも増加しており、1回の旅行にける費用は上昇傾向といえる。単価は上がったものの、宿泊旅行者の減少によって総額では前年度から6.1%の減少となった。

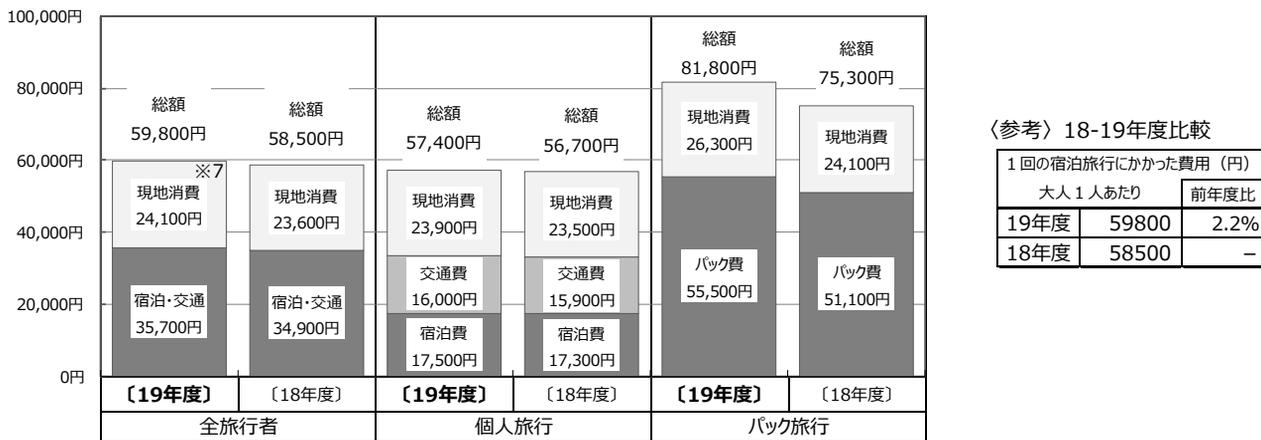
- ※5 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人1人あたり）・・・1回の宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地消費の合計。バック旅行の場合、1人あたりのバック費・現地消費の合計。20歳未満の子供もを連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている
- ※6 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む
- ※7 現地消費・・・旅行中に、現地で消費した費用の合計。買い物、飲食、体験・観光、移動など、28項目の中で、実施した行動の費用の合計を指す。ただし、宿泊プラン・ツアーに含まれていた費用は除く  
18年度より「現地消費」の聴取方法を変更した（17年度までは一括で「現地小遣い」を尋ねる方法）

■ 宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



■ 1回の宿泊旅行にかかった費用 (大人1人あたり)

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある



<全国の宿泊旅行費用総額の推計方法>

- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とバック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法（個人orバック）別の旅行費用の平均値（単価）を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

<参考> 宿泊旅行の手配方法

※ベース：宿泊旅行件数

※個人旅行：「自分たちで宿を手配」と「旅行会社を通して宿を手配」と回答した人を合わせた割合

※バック旅行：「旅行会社のバックを利用して行く旅行」の割合



「一人旅」が微増し、18.6%とさらにシェア拡大

20～34歳の男性が実施した旅行の約3割を「一人旅」が占める

最も割合が高いのは「夫婦二人での旅行」で25.2%。次いで「一人旅」が18.6%と続く。

「一人旅」「恋人との旅行」などが上昇し過去最高値。「小学生以下の子連れ家族旅行」が微減した。「一人旅」は20～34歳の男性が実施した旅行の約3割を占めている。

■ 宿泊旅行の同行形態（単一回答）

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない

	一人旅	恋人との旅行	夫婦二人での旅行	小学生以下の子連れ家族旅行	中学生以上の子連れ家族旅行	親連れ家族旅行	その他の家族旅行	友人との旅行	職場やサークルなど団体旅行	その他		
〔19年度〕 全体	18.6	8.2	25.2	11.5	4.2	8.4	7.9	12.5	2.5	1.1		
〔18年度〕 全体	18.0	7.8	25.2	12.0	4.5	8.4	7.8	12.8	2.7	1.0		
〔17年度〕 全体	17.2	7.3	25.7	11.1	4.5	8.9	8.4	12.7	2.9	1.2		
〔16年度〕 全体	17.2	7.0	25.5	11.8	4.3	8.5	8.3	13.1	3.2	1.2		
〔15年度〕 全体	17.5	7.0	25.3	11.2	4.2	8.5	8.4	13.2	3.3	1.4		
〔14年度〕 全体	15.9	7.3	24.5	11.9	4.2	8.2	8.9	13.9	3.8	1.4		
〔13年度〕 全体	15.4	7.0	24.8	11.7	4.3	8.4	9.1	13.8	3.8	1.7		
〔12年度〕 全体	14.5	7.2	24.1	12.7	4.3	7.9	9.2	13.8	4.4	1.8		
〔11年度〕 全体	14.1	7.4	24.5	12.6	4.0	8.0	8.8	14.3	4.5	1.9		
〔10年度〕 全体	13.1	7.2	24.4	12.8	3.9	7.8	9.0	15.3	4.7	1.8		
〔09年度〕 全体	12.9	7.4	24.3	12.4	3.7	7.7	9.3	15.2	5.2	2.0		
〔08年度〕 全体	12.5	7.4	24.2	12.0	3.6	7.6	9.3	15.3	5.8	2.2		
〔07年度〕 全体	12.0	7.3	23.8	12.4	3.7	7.2	9.3	15.9	6.1	2.2		
〔06年度〕 全体	11.2	7.7	24.0	12.8	3.5	7.1	9.5	16.4	5.7	2.2		
〔05年度〕 全体	10.8	7.7	23.6	13.5	3.7	7.0	9.5	15.6	6.4	2.1		
〔04年度〕 全体	10.5	8.1	22.4	14.6	4.3	7.3	8.6	15.3	5.8	3.0		
〔19年度〕 性・年代別 内訳	20～34歳	男性	29.8	18.9	8.8	10.5	0.2	9.8	2.2	15.7	3.5	0.5
		女性	13.7	19.2	15.6	9.5	0.4	13.4	4.7	20.6	2.1	0.8
	35～49歳	男性	26.4	7.6	12.4	27.3	4.0	8.5	2.4	8.3	2.7	0.4
		女性	12.7	6.6	20.1	25.4	8.4	11.4	4.2	9.1	1.1	0.9
	50～79歳	男性	21.2	4.3	36.3	5.2	5.2	4.9	8.1	10.3	3.5	1.2
		女性	12.5	3.2	35.2	3.8	4.8	7.2	16.1	13.4	1.9	1.9

■ 「一人旅」構成比の推移

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数>

(%)

性・年代別	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	
20～34歳	男性	14.9	17.7	19.5	20.3	20.1	21.6	20.9	23.3	23.2	26.1	26.9	28.8	29.1	26.8	27.4	29.8
	女性	7.2	8.2	8.7	8.6	9.2	10.3	10.0	10.7	10.2	11.6	12.6	14.3	12.6	13.9	14.4	13.7
35～49歳	男性	12.3	13.7	13.9	15.2	15.7	16.7	18.4	18.5	20.9	21.9	23.0	24.8	24.2	26.2	24.5	26.4
	女性	5.8	6.7	6.7	7.3	7.7	7.4	9.4	8.2	8.0	9.7	10.1	11.7	11.3	10.7	12.1	12.7
50～79歳	男性	13.6	12.5	12.2	13.1	14.6	14.1	14.1	17.4	16.9	17.7	18.3	19.2	20.1	20.7	22.1	21.2
	女性	8.9	8.1	8.8	9.5	9.6	10.3	9.8	9.9	11.3	11.0	10.4	12.3	11.4	10.6	11.9	12.5

延べ宿泊旅行者数1位は東京都、2位北海道、3位大阪府  
全都道府県で増加したのは8県のみ

延べ宿泊旅行者数の増加率トップ<sup>3</sup>は福井県、宮崎県、福岡県

延べ宿泊旅行者数の多い旅行先（都道府県別の延べ宿泊旅行者数）は、4位までは前年度と同順位。前年度5位の神奈川県が1ランク下がり、代わって長野県が5位に。「延べ宿泊旅行者数」を減らした都道府県が目立つ中で、トップ10では8位の福岡県のみがプラスとなり、順位も2ランク上がった。全都道府県では延べ宿泊旅行者を増やした県は8県にとどまり、増減率が最も高かったのは福井県で、前年度より13.6%増となった。地域のブロック別ではいずれの地域も前年度から減少しているが、比較的減少幅が小さかったのは北海道ブロック、九州ブロック、沖縄ブロックの3地域。

※出張・帰省・修学旅行などによる宿泊旅行は含まない。但し、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも、宿泊を伴う旅行であれば含める

※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしている

※1人あたり1年間に行った全ての旅行回数を尋ねた結果から推計している

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値）

※上位10都道府県

全体						増減傾向				
2019年度 推計値		順位変動	2018年度 推計値	2017年度 推計値	2016年度推計値	2015年度推計値	19←18	18←17	17←16	16←15
全国	13,575万人		14,777万人	14,556万人	14,358万人	15,313万人	-	+	+	-
1位 東京都	1,447万人	←	(1位 1,573万人)	(1位 1,541万人)	1,527万人	1,675万人	-	+	+	-
2位 北海道	1,091万人	←	(2位 1,134万人)	(2位 1,066万人)	988万人	1,069万人	-	+	+	-
3位 大阪府	739万人	←	(3位 809万人)	(3位 775万人)	697万人	776万人	-	+	+	-
4位 静岡県	665万人	←	(4位 733万人)	(4位 773万人)	723万人	748万人	-	-	+	-
5位 長野県	630万人	↑	(6位 693万人)	(6位 702万人)	671万人	809万人	-	-	+	-
6位 神奈川県	584万人	↓	(5位 705万人)	(5位 710万人)	708万人	727万人	-	-	+	-
7位 京都府	549万人	←	(7位 623万人)	(7位 637万人)	618万人	625万人	-	-	+	-
8位 福岡県	515万人	↑	(10位 496万人)	(10位 503万人)	480万人	507万人	+	-	+	-
9位 千葉県	510万人	↓	(8位 619万人)	(8位 553万人)	564万人	622万人	-	+	-	-
10位 沖縄県	474万人	↓	(9位 533万人)	(9位 540万人)	449万人	449万人	-	-	+	=

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者増減率・増減数（2019年度-2018年度推計値）

※増減率上位10都道府県

全体		
2019年度←18年度	増減率	増減数
1位 福井県	13.6%	16万人
2位 宮崎県	10.1%	10万人
3位 福岡県	3.9%	19万人
4位 滋賀県	3.7%	5万人
5位 香川県	2.9%	4万人
6位 岐阜県	0.9%	2万人
7位 石川県	0.6%	2万人
8位 島根県	0.3%	1万人
9位 栃木県	▲ 0.6%	-2万人
10位 愛知県	▲ 2.1%	-9万人

【参考】ブロック別の延べ宿泊旅行者数増減

（2019年度-2018年度推計値）

単位(万人)		旅行先ブロック								
		北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	甲信越・北陸ブロック	東海ブロック	関西ブロック	中四国ブロック	九州ブロック	沖縄ブロック
全体	19年度	1,091	1,191	3,488	1,735	1,586	2,188	1,279	1,559	474
	18年度	1,134	1,294	3,931	1,842	1,705	2,424	1,424	1,616	533
	17年度	1,066	1,269	3,795	1,856	1,742	2,378	1,433	1,621	540
	19-18年度増減	-43	-103	-442	-107	-119	-236	-145	-57	-59
居住地ブロック	北海道ブロック	-38	-1	-3	7	-3	-2	-4	-3	4
	東北ブロック	-42	-44	-43	-2	5	-22	0	9	3
	関東ブロック	18	-36	-157	-105	-18	-92	4	20	-27
	甲信越・北陸ブロック	2	7	-42	1	-3	-16	6	5	-4
	東海ブロック	6	-7	-63	-9	-49	-46	-54	11	-1
	関西ブロック	0	-23	-64	10	-40	-38	-34	-35	-22
	中四国ブロック	3	-2	-49	-5	-7	-7	-59	-12	-7
	九州ブロック	10	5	-16	0	-6	-17	-4	-49	4
沖縄ブロック	-1	-2	-5	-3	1	3	0	-2	-9	

※全体増減/-100万人以上：網掛け白文字、+100万人以上：網掛け黒文字

※ブロック別増減/-30万人以上：網掛け白文字、+30万人以上：網掛け黒文字

※マイナス：赤文字

国内旅行をした人になぜその旅行先を選んだかを聞き、理由別にランキングを作成した。

- 特定のイベントやアクティビティに興味・・・1位：千葉県
- テレビや雑誌などで話題・・・1位：石川県
- 特定の観光地・スポットに興味・・・1位：島根県
- 食・特産品に興味・・・1位：沖縄県
- 良い宿・ホテル・・・1位：大分県
- 魅力的な温泉・・・1位：大分県

## ■ 特定のイベントやアクティビティに興味があったから

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	33.4	全体平均	32.7
1位 千葉県	47.1	1位 千葉県	44.8
2位 沖縄県	45.3	2位 沖縄県	44.3
3位 大阪府	43.2	3位 長崎県	41.0
4位 宮崎県	42.5	4位 大阪府	40.5
5位 北海道	40.7	5位 北海道	39.8
6位 福岡県	40.0	6位 東京都	37.6
7位 徳島県	38.9	7位 新潟県	36.9
8位 長崎県	38.2	8位 福岡県	36.5
9位 東京都	37.9	9位 鹿児島県	35.4
10位 愛知県	37.6	10位 徳島県	34.7

## ■ テレビや雑誌などで話題になっていたから

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	22.4	全体平均	21.8
1位 石川県	32.2	1位 長崎県	31.2
2位 長崎県	32.1	2位 沖縄県	30.2
3位 北海道	31.8	3位 北海道	29.7
4位 沖縄県	30.8	4位 石川県	28.9
5位 宮崎県	28.7	5位 三重県	27.7
6位 京都府	28.3	6位 鹿児島県	27.2
7位 島根県	27.9	7位 大分県	26.6
8位 徳島県	27.7	8位 千葉県	25.5
9位 三重県	27.3	9位 和歌山県	25.4
10位 青森県	26.9	10位 広島県	24.8

## ■ 特定の観光地・観光スポットに興味があったから

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	65.0	全体平均	64.2
1位 島根県	81.4	1位 島根県	83.7
2位 沖縄県	78.2	2位 長崎県	81.5
3位 三重県	76.6	3位 和歌山県	76.9
3位 長崎県	76.6	4位 沖縄県	76.4
5位 京都府	76.5	5位 三重県	75.8
6位 徳島県	76.1	6位 広島県	75.6
7位 青森県	76.0	7位 奈良県	74.7
8位 奈良県	75.6	7位 香川県	74.7
9位 香川県	75.2	9位 山口県	73.9
10位 石川県	73.8	10位 京都府	72.8

## ■ そこならではの食・特産品に興味があったから

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	45.2	全体平均	43.4
1位 沖縄県	63.1	1位 高知県	63.8
2位 北海道	62.3	2位 香川県	63.7
3位 香川県	62.0	3位 沖縄県	61.0
4位 石川県	60.7	4位 石川県	60.7
5位 広島県	60.4	5位 北海道	60.5
6位 福岡県	57.2	6位 富山県	55.7
7位 高知県	56.7	7位 長崎県	54.9
8位 鹿児島県	55.4	8位 鹿児島県	51.7
9位 富山県	55.3	9位 三重県	50.8
10位 山形県	54.7	9位 大分県	50.8

## ■ 良い宿・ホテルがあったから

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	51.6	全体平均	50.1
1位 大分県	70.0	1位 大分県	68.9
2位 栃木県	64.4	2位 群馬県	67.0
3位 静岡県	63.4	3位 栃木県	66.3
4位 福島県	61.9	4位 和歌山県	62.8
5位 兵庫県	60.4	5位 静岡県	61.9
6位 群馬県	60.2	6位 神奈川県	58.4
7位 千葉県	58.7	7位 三重県	58.2
8位 神奈川県	58.2	8位 熊本県	57.2
9位 熊本県	56.9	9位 兵庫県	56.0
10位 沖縄県	56.2	10位 山形県	54.8

## ■ 魅力的な温泉があったから

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	35.5	全体平均	34.3
1位 大分県	79.8	1位 大分県	77.6
2位 群馬県	69.8	2位 群馬県	74.1
3位 愛媛県	62.6	3位 愛媛県	62.1
4位 佐賀県	61.0	4位 山形県	59.4
5位 栃木県	60.3	5位 栃木県	59.2
6位 福島県	59.4	6位 熊本県	57.8
7位 熊本県	58.9	7位 佐賀県	57.4
8位 山形県	56.2	8位 鳥取県	56.3
9位 岐阜県	54.5	9位 静岡県	53.0
10位 鹿児島県	53.1	10位 岐阜県	52.6

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先を選んだ理由を「当てはまる」「やや当てはまる」「どちらともいえない」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の5段階から選択

②「当てはまる」「やや当てはまる」の割合が多い順にランキング

■ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった

- 1位：石川県、2位：北海道、3位：宮崎県

石川県は3年連続1位。  
宮崎県が圏外から大きく上昇し、3位へランクイン。

1位の石川県は、「のどぐる」や「カニ」「すし」などの魚介類がバランス良く人気。2位の北海道は魚介に加えて「ジンギスカン」や「ラーメン」などのメニュー名も挙がる。3位に躍進した宮崎県は「チキン南蛮」「炭焼き」などの地鶏メニュー、「宮崎牛」など肉類が好評価。宮崎県以外に4位の山形県、7位の青森県、9位の鹿児島県、10位の福岡県が圏外からランクイン。

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	63.2	全体平均	60.9
1位 石川県	79.5	1位 石川県	77.9
2位 北海道	78.9	2位 高知県	77.0
3位 宮崎県	78.3	3位 北海道	76.4
4位 山形県	77.2	4位 熊本県	76.2
5位 高知県	77.0	5位 沖縄県	75.1
5位 沖縄県	77.0	6位 香川県	74.3
7位 青森県	76.4	7位 富山県	72.8
8位 香川県	76.3	8位 宮城県	72.5
9位 鹿児島県	75.5	8位 長崎県	72.5
10位 福岡県	74.9	10位 和歌山県	72.0

■ 魅力のある特産品や土産物が多かった

- 1位：沖縄県、2位：北海道、3位：鹿児島県

沖縄県は15年連続で1位を獲得。  
海産物や有名な菓子類、フルーツ等が人気。

1位の沖縄県は「ちんすこう」「紅芋タルト」のような菓子類に加えて「シーサー」などの土産物も名前が挙がる。2位の北海道は海産物に加えて菓子類を挙げる人が多い。3位の鹿児島県は「焼酎」「さつまあげ」が人気。6位の青森県は「りんご」や海産物、7位の広島県は「もみじまんじゅう」「カキ」「レモン（使ったお菓子）」、8位の宮崎県は「マンゴー」が人気を集め、圏外からベスト10入り。

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	52.3	全体平均	50.6
1位 沖縄県	72.1	1位 沖縄県	69.9
2位 北海道	66.7	2位 北海道	65.0
3位 鹿児島県	66.3	3位 熊本県	63.7
4位 京都府	65.8	4位 石川県	63.6
5位 石川県	65.7	5位 長崎県	62.2
6位 青森県	64.5	6位 鹿児島県	61.5
7位 広島県	63.9	7位 京都府	61.4
8位 宮崎県	62.3	8位 宮城県	61.0
9位 熊本県	62.0	9位 高知県	60.7
10位 長崎県	61.4	10位 三重県	60.0

■ 魅力的な宿泊施設が多かった

- 1位：大分県、2位：沖縄県、3位：北海道

5年連続で大分県が1位。  
石川県、千葉県、神奈川県が新たにベスト10入り。

1位の大分県は温泉地の宿名を挙げる人が多い。2位の沖縄県は有名リゾートホテルの名前が多数挙げられている。3位の北海道は温泉が多いが、スノーリゾートのホテル名を挙げる人も。有名温泉地、もしくはリゾート地やテーマパークなど大規模な観光地を有する地域が上位を占めている。

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	46.5	全体平均	44.4
1位 大分県	68.4	1位 大分県	64.0
2位 沖縄県	63.0	2位 沖縄県	60.1
3位 北海道	54.0	3位 熊本県	57.3
4位 兵庫県	52.9	4位 和歌山県	56.8
5位 和歌山県	52.7	5位 群馬県	54.8
6位 石川県	52.6	6位 北海道	53.5
7位 熊本県	52.4	7位 兵庫県	50.3
8位 群馬県	52.0	8位 栃木県	50.2
8位 千葉県	52.0	9位 三重県	49.6
8位 神奈川県	52.0	10位 愛媛県	49.4

■ 地元の人のホスピタリティを感じた

- 1位：沖縄県、2位：宮崎県、3位：山形県

沖縄県は15年連続1位。2位に宮崎県、  
9位の石川県、10位の福島県が圏外からランクイン。

1位の沖縄県は今年で15年連続の1位。地元の人の温かさ、また観光客を歓迎するムードがあることや、高齢者に優しいといった意見も。上位に入る県はどれも「どこに行ってもみんな優しい」というコメントが多い。3位の山形県は「地元の生活感が感じられた」との意見も。

(単位：%)

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	26.6	全体平均	24.8
1位 沖縄県	47.9	1位 沖縄県	47.1
2位 宮崎県	42.2	2位 熊本県	33.9
3位 山形県	38.4	3位 青森県	33.2
4位 鹿児島県	35.3	3位 鹿児島県	33.2
5位 香川県	34.1	5位 山形県	32.9
6位 北海道	33.9	6位 北海道	31.6
7位 熊本県	32.5	6位 大分県	31.6
8位 青森県	32.3	8位 香川県	31.0
9位 石川県	32.1	8位 高知県	31.0
10位 福島県	31.2	10位 佐賀県	30.8

(単位：%)

■ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：和歌山県

1位の千葉県は15年連続。  
ベスト3は12年連続で順位の変動なし。

4位の長崎県は4ランクアップ。テーマパークの名前が多く挙げられている。7位の宮崎県は圏外からトップ10入りとなり、リゾートホテルや高千穂峡、また野球のキャンプ観戦で訪れた人も。9位にランクインした福井県は半数近くの人が恐竜に関するスポットの名前を挙げている。

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	25.3	全体平均	25.3
1位 千葉県	53.9	1位 千葉県	54.1
2位 沖縄県	44.3	2位 沖縄県	41.1
3位 和歌山県	40.5	3位 和歌山県	39.9
4位 長崎県	35.1	4位 三重県	34.9
5位 大阪府	31.5	5位 栃木県	32.1
6位 三重県	31.3	6位 大分県	31.8
7位 宮崎県	30.8	7位 大阪府	31.2
8位 北海道	29.6	8位 長崎県	31.0
9位 福井県	28.8	9位 鳥取県	27.8
10位 山梨県	28.1	10位 北海道	27.2
		10位 山梨県	27.2

(単位：%)

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：大阪府

ベスト3の顔ぶれは2005年度以来変わらず。  
ショッピングやSNS映えするスポットが人気。

上位3府県の順位は前年度と変化なし。3府県とも有名テーマパークの名前が多く挙がるが、沖縄県ではマリナクティビティ、また3府県とも、ショッピングエリアの名前が挙がるのが特徴的。一方、7位に圏外からランクインした宮崎県では、高千穂峡や日南エリアなどSNS映えするフォトスポットが人気。

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	28.6	全体平均	27.9
1位 千葉県	52.5	1位 千葉県	52.2
2位 沖縄県	51.2	2位 沖縄県	51.0
3位 大阪府	40.9	3位 大阪府	41.1
4位 長崎県	35.5	4位 和歌山県	36.1
5位 東京都	35.3	5位 東京都	33.4
6位 和歌山県	34.5	6位 長崎県	31.3
7位 宮崎県	33.7	7位 大分県	30.9
8位 北海道	32.6	8位 北海道	30.1
9位 福岡県	30.9	9位 福岡県	30.0
10位 神奈川県	30.0	10位 神奈川県	29.5
		10位 三重県	29.5

(単位：%)

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

－ 1位：沖縄県、2位：千葉県、3位：京都府

沖縄県は4年連続で1位。テーマパークや神社仏閣巡り、ボートなどのアクティビティが人気。

1位の沖縄県は水族館や商店街、海レジャーなどのコメントが多い。2位の千葉県は有名テーマパーク、3位の京都府は神社仏閣の名前が多数挙がる。4位に圏外からランクインした宮崎県は高千穂峡のボートや神社の参拝が人気。他、8位の鹿児島県、10位の北海道が圏外からランクインした。

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	42.5	全体平均	42.0
1位 沖縄県	59.1	1位 沖縄県	57.9
2位 千葉県	55.3	2位 千葉県	55.4
3位 京都府	52.6	3位 奈良県	51.0
4位 宮崎県	50.1	4位 長崎県	49.4
5位 長崎県	49.2	5位 京都府	48.6
6位 奈良県	47.6	6位 三重県	47.7
7位 石川県	47.3	7位 和歌山県	47.2
8位 鹿児島県	46.7	8位 大分県	46.8
9位 和歌山県	46.6	9位 広島県	45.4
10位 北海道	46.1	10位 石川県	44.6

■ 現地で良い観光情報を入手できた

－ 1位：沖縄県、  
2位：宮崎県、  
3位：青森県

ホテルや観光地などに加え  
SNSが新たな情報源に。

ホテルや飲食店、観光地などの意見が多い中で、1位の沖縄県ではSNSと回答する声も多く見られた。

2019年度 順位		2018年度 順位	
全体平均	28.4	全体平均	27.0
1位 沖縄県	46.1	1位 沖縄県	46.0
2位 宮崎県	40.3	2位 北海道	36.1
3位 青森県	38.3	2位 京都府	36.1
4位 北海道	36.4	4位 青森県	35.5
5位 石川県	36.0	5位 鹿児島県	34.6
6位 京都府	35.7	6位 鳥取県	34.5
7位 香川県	35.3	7位 熊本県	34.3
8位 鹿児島県	35.2	8位 富山県	33.7
9位 長崎県	33.2	8位 愛媛県	33.7
10位 富山県	32.9	10位 長崎県	33.4

(単位：%)

<ランキングの算出方法>

※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース  
①訪問した旅行先の評価を「そう思う」「ややそう思う」「ふつう」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択  
②「そう思う」「ややそう思う」・計の割合が多い順にランキング

<コメントの回答方法>

「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に任意でコメント記入

※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「地元の人のホスピタリティを感じた」「子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「現地で良い観光情報を入手できた」